

# 施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (3) 上下水道の充実

(評価担当者)

上下水道部長 服部 政徳

## 基本施策が目指す姿

市民が、良好な水環境の中、おいしい水を利用しています。

## 関連する分野別計画

亀山市新水道ビジョン

## 成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	上水道の有収率	%	89.2	H27	90.8	91.2	88.8	90.0		92.6
2	汚水処理人口普及率	%	86.2	H27	88.0	88.2	88.3	88.6		90.0
3	水道事業会計の経常収支比率	%	109.07	H27	108.59	120.39	122.92	120.67		110.00
4	公共下水道事業会計の経常収支比率	%	103.19	H27	102.92	103.95	102.50	104.12		100.00
5										

## 市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 安全でおいしい水が供給されている	重要度	1.60	1.61	水の安定供給、生活排水処理の重要度は、共に高い結果となっている。満足度において、水道については高い評価を得ていることから、継続して安全でおいしい水を安定的に供給できるように施設の更新や維持管理などに取り組む必要がある。生活排水処理については、市民満足度向上を目指し、計画的な下水道整備を推進する必要がある。
	満足度	0.96	1.05	
2 生活排水が適正に処理されている	重要度	1.48	1.42	
	満足度	0.66	0.71	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

## 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b> まずまず進んでいる	安全でおいしい水の安定供給については、老朽管の更新・耐震化、水量水圧不足解消対策を計画的に進めるなど施策の推進が図れている。生活排水対策の推進については、公共下水道の計画的な整備により汚水処理人口普及率や下水道事業のPRにより接続率が向上している。農業集落排水事業では最適化整備構想に基づき農業集落排水施設機能強化事業計画書の策定を行うなど施策の推進が図れている。上下水道事業の健全経営については、上下水道料金の口座振替やクレジット収納、スマートフォンアプリによる収納の導入により財源確保に努めるなど、施策の推進が図れている。個別の判定では、施策の方向でB、でAとしているが、施設整備などで新型コロナウイルス感染拡大の影響で材料等の調達に遅れが生じ、一部を令和3年度への繰越があったことなどから総合判定をBとした。
反省点・課題	
上水道事業については、水道施設や配水管の老朽化対策や耐震化、震災対策を計画的に進めるために、有収率の向上、水道料金の収納率の向上に継続して取り組み、財源確保に努める必要がある。また、下水道事業については、公共下水道の未普及地域の整備、施設の長寿命化及び農業集落排水事業の機能強化について、国庫補助金の活用により未普及地域への整備や老朽化した施設の更新を計画的・効率的に進めるとともに、下水道への接続の促進、下水道料金の収納率の向上に努める必要がある。	

## 今後の展開方針

上水道事業については、安全でおいしい水を安定的に供給できるよう、新水道ビジョンに基づき、水道施設や配水管の更新・耐震化・震災対策を進めるとともに、口座振替、クレジット収納、スマートフォンアプリによる収納を促進し財源確保に努める。また、漏水調査、修繕等により有収率の向上に努める。公共下水道事業については、公共下水道事業計画、下水道ストックマネジメント計画、下水道事業経営戦略に基づき、今後も計画的な未普及地域の整備、管路の長寿命化対策を進めるとともに、各種補助事業を活用して財源確保に努める。また、生活排水処理アクションプログラムに基づき事業計画の変更を行う。農業集落排水事業については、機能診断を基に施設の更新等を進め、ライフサイクルコストの縮減や平準化を図るとともに、国からの通達に伴い、公営企業会計に移行していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 安全でおいしい水の安定供給						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
B	活動	安全でおいしい水の安定供給を図るため、老朽管の更新と耐震化に努めた。また、亀山第1水源系、関第2水源系の基幹管路の一部耐震化を行った。更に、水量水圧不足解消を図ることで、令和3年度完成に向け、住山加圧ポンプ室の建設工事を開始した。	評価	水道管及び水源地等の施設整備の計画的な更新と耐震化を図ることや加圧ポンプ施設等の整備により、水量水圧不足の解消を図ることで、安全でおいしい水の安定供給につながった。また、配水管の漏水対策を迅速に対応したことで、成果指標である「上水道の有収率」については前年度より上昇傾向となった。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17011	水道生活基盤整備事業	主	57,290 / 23,590	B	B
	19003	水道施設耐震化整備事業	主	33,487 / 33,487	B	B
	20001	水道施設台帳整備事業	主	30,155 / 28,571	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 生活排水対策の推進						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
B	活動	公共下水道施設整備事業については、地下水の関係等から一部繰越工事となったが、概ね計画どおり管路整備を実施し完成出来た。また、長寿命化対策事業についても、計画どおり工事を実施し完成させた。農業集落排水事業については、施設の機能診断調査の結果を基に施設機能強化事業計画書の策定を行った。	評価	公共下水道施設整備事業は未普及地域の解消に向けて整備が実施され計画どおりの進捗が図れた。長寿命化対策事業は計画どおりの整備が実施され施設の健全化が図れた。また、生活排水処理アクションプログラムが策定でき持続的な汚水処理のシステム構築が図れた。農業集落排水事業は施設機能強化事業計画書が策定でき事業着手が可能となったことで進捗が図れた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17012	公共下水道施設整備事業	主	638,436 / 624,906	B	B
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)	主	69,189 / 68,840	A	A
	17014	農業集落排水施設機能強化事業	主	8,000 / 7,656	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 上下水道事業の健全経営						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
A	活動	上水道事業については、令和2年3月に策定した亀山市水道事業及び工業用水道事業経営戦略に基づき、水道水の安定的な供給と健全な事業運営に努めた。また、スマートフォンアプリ等による収納など水道料金納付の利便性の向上を図った。公共下水道事業及び農業集落排水事業については、経営戦略に基づき、持続的な経営確保に向け、経営基盤の強化に努めた。	評価	上水道事業について、亀山市水道事業及び工業用水道事業経営戦略に基づき、継続的な健全経営に取り組むことができた。また、公共下水道事業及び農業集落排水事業については、経営戦略に基づき、安定的な事業運営の継続に向けた取り組みができた。また、農業集落排水の使用料のコンビニ収納、スマートフォン収納に取組んだ。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
				/		
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	農業集落排水使用料のコンビニ収納とスマートフォンアプリ収納の取り組み				A	A